

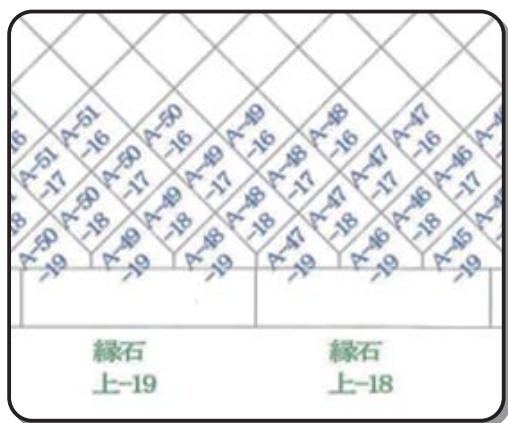
工事開始



▲石への番号付け



▲手作業で取りはずします



▲取りはずした石の位置を記録

日本橋は、使われている材料や石の置き方が開橋当時から変わっておらず、百年前の技術を伝える貴重な文化遺産です。
そのため、今まで使われていた石を大切に扱って補修工事後、そのまま元に戻す必要があります。
工事は、石を傷つけないように、全て手作業で行い、また、同じ場所に戻すために、石の位置がわかるように番号をつけ、位置をすべて記録した配置図を作りました。

大量の人と車も通る日本橋



▲工事中も車の通行を確保しました

日本橋は、1日に約3万3千台の車が通行する、重要な橋なので、工事で通行止めにしてしまうと、周りの道路で渋滞^{じゅうたい}が起きてしまいます。

そのため、補修工事の間も橋の片側は、車の通行ができるようにしました。